

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

ー 生乳の生産量は0.3%増加 ー

生乳の生産量は761万7,473tで、前年に比べ2万5,412t（0.3%）増加した。

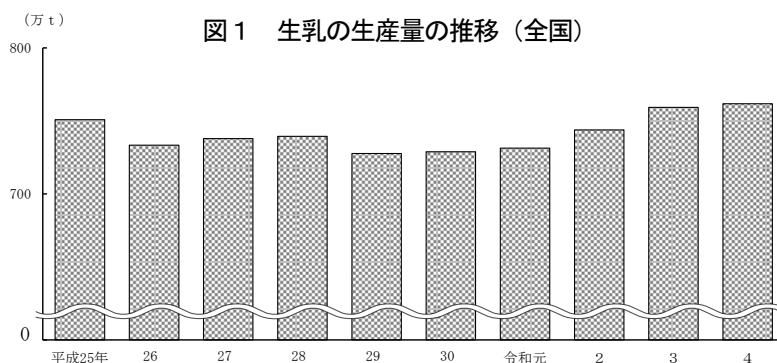
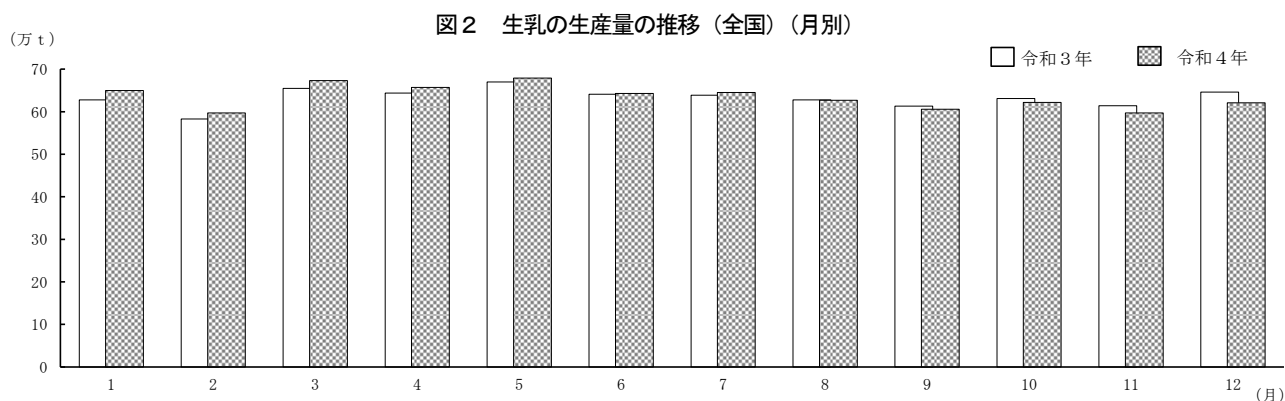


表1 生乳の生産量（全国、北海道・都府県別）

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国	北海道	都府県	全国	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
令和3年	7,592,061	4,265,600	3,326,461	102.1	102.7	101.3
4	7,617,473	4,309,275	3,308,198	100.3	101.0	99.5



(2) 全国農業地域別生乳生産量

ー 北海道の生乳生産量シェアは56.6% ー

生乳の生産量を全国農業地域別にみると、北海道が430万9,275t（全国に占める割合56.6%）で最も多く、次いで関東・東山が113万5,716t（同14.9%）、九州が61万7,496t（8.1%）の順となっている。

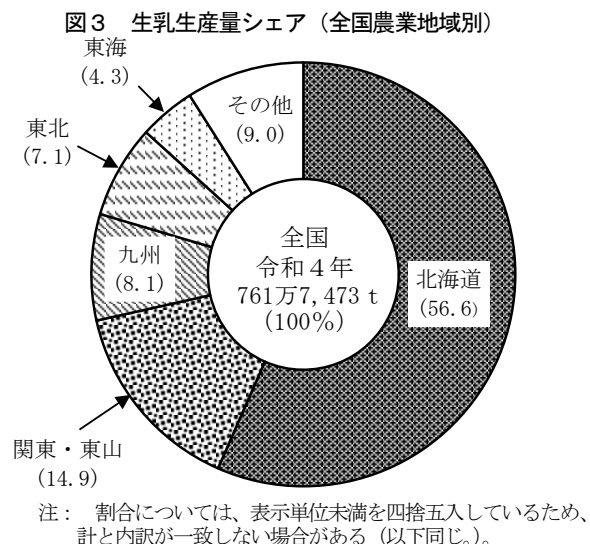


表2 生乳の生産量（全国農業地域別）

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和3年	7,592,061	4,265,600	546,230	75,345	1,123,413	332,500	164,010	316,837	112,291	632,991	22,844
4	7,617,473	4,309,275	543,160	74,553	1,135,716	326,154	159,840	317,274	112,289	617,496	21,716
対前年比（%）	100.3	101.0	99.4	98.9	101.1	98.1	97.5	100.1	100.0	97.6	95.1

(3) 用途別処理量

－ 牛乳等向けは0.6%減少、乳製品向けは1.5%増加 －

生乳の処理量を用途別にみると、牛乳等向け処理量は397万6,657 tで、前年に比べ2万4,322 t（0.6%）減少し、乳製品向け処理量は359万4,208 tで、前年に比べ5万1,582 t（1.5%）増加した。

図4 牛乳等向け及び乳製品向け処理量の推移（全国）

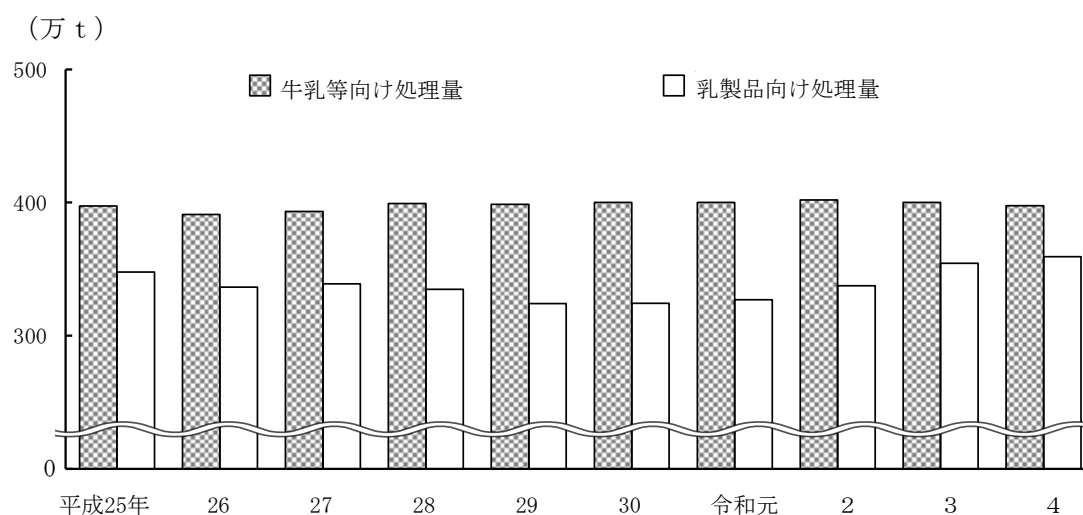


表3 生乳の用途別処理量（全国）

単位：t

年 次	生乳生産量	用 途 別 処 理 量				
		牛乳等向け			乳製品向け	その他
			業務用向け		チーズ向け	
令和3年	7,592,061	4,000,979	323,820		3,542,626	48,456
4	7,617,473	3,976,657	321,627		3,594,208	46,608
対前年比（%）	100.3	99.4	99.3		101.5	96.2

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

― 牛乳の生産量は0.5%減少 ―

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳の生産量は317万7,723klで、前年に比べ1万6,105kl（0.5%）減少し、加工乳・成分調整牛乳の生産量は38万5,948klで、前年に比べ3,873kl（1.0%）増加した。

図5 牛乳及び加工乳・成分調整牛乳の生産量の推移（全国）

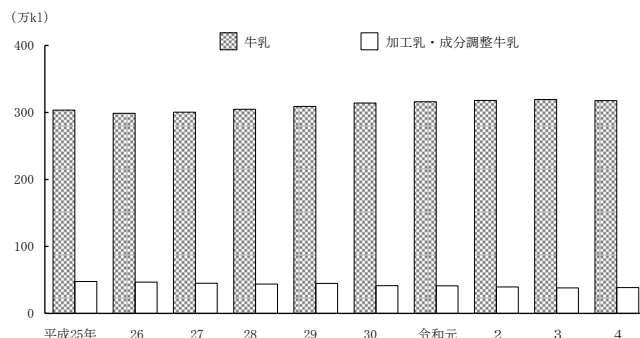
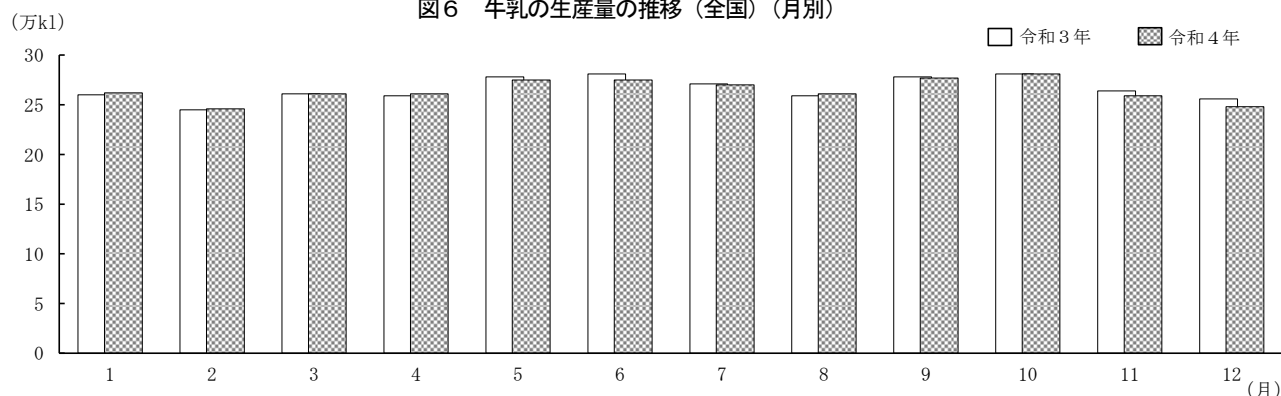


表4 飲用牛乳等の生産量（全国）

単位：kl

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	業務用	加工乳・成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
令和3年	3,575,903	3,193,828	299,665	382,075	43,682	264,289
4	3,563,671	3,177,723	296,990	385,948	61,961	255,222
対前年比（%）	99.7	99.5	99.1	101.0	141.8	96.6

図6 牛乳の生産量の推移（全国）（月別）



(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

― 関東・東山の飲用牛乳等生産量シェアは33.5% ―

飲用牛乳等の生産量を全国農業地域別にみると、関東・東山が119万5,248kl（全国に占める割合33.5%）で最も多く、次いで北海道が57万4,523kl（同16.1%）、九州が39万709kl（同11.0%）の順となっている。

図7 飲用牛乳等生産量シェア（全国農業地域別）

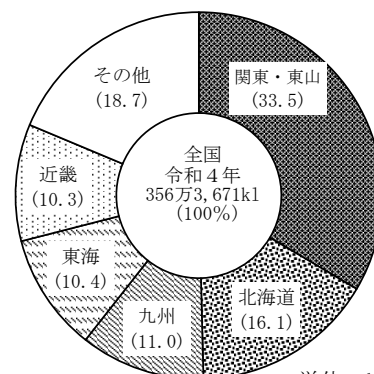


表5 飲用牛乳等生産量（全国農業地域別）

単位：kl

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和3年	3,575,903	560,252	217,549	76,351	1,220,932	363,355	383,340	249,221	87,576	392,325	25,002
4	3,563,671	574,523	219,912	75,361	1,195,248	372,146	365,709	257,114	90,630	390,709	22,319
対前年比（%）	99.7	102.5	101.1	98.7	97.9	102.4	95.4	103.2	103.5	99.6	89.3

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量

ー はっ酵乳の生産量は 6.5%減少 ー

乳飲料の生産量は 107 万 7,401kl、はっ酵乳の生産量は 106 万 2,787kl、乳酸菌飲料の生産量は 10 万 5,909kl で、前年に比べそれぞれ 1 万 1,441kl (1.1%)、7 万 4,399kl (6.5%)、9,081kl (7.9%) 減少した。

図8 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移（全国）

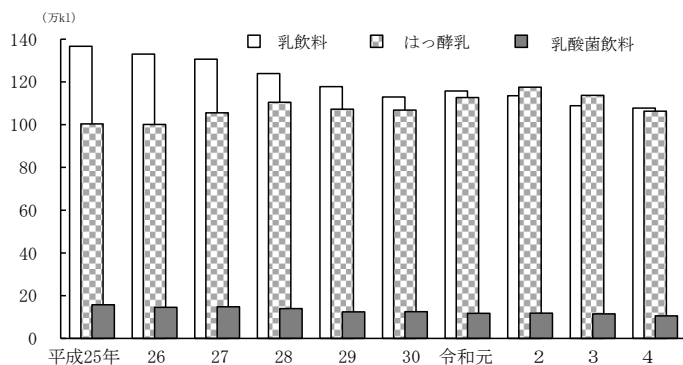


表6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量（全国）

単位：kl

年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
令和3年	1,088,842	1,137,186	114,990
4	1,077,401	1,062,787	105,909
対前年比 (%)	98.9	93.5	92.1

図9 乳飲料の生産量の推移（全国）（月別）

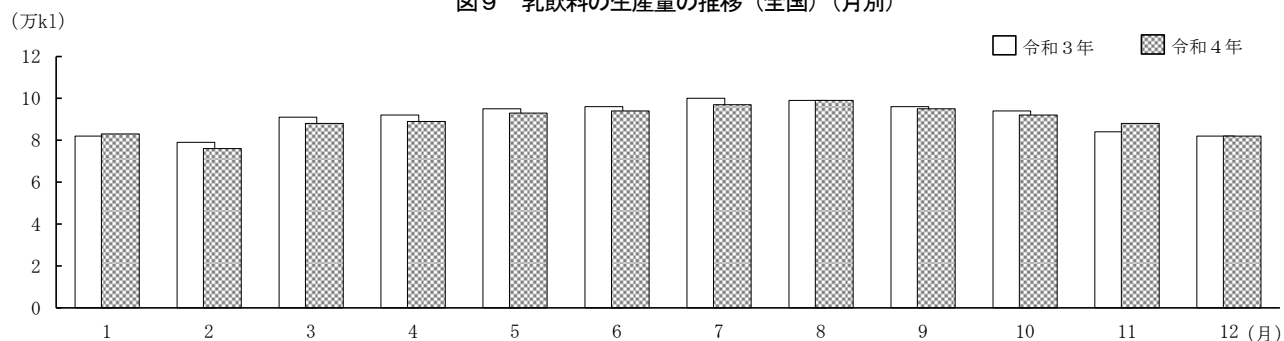


図10 はっ酵乳の生産量の推移（全国）（月別）

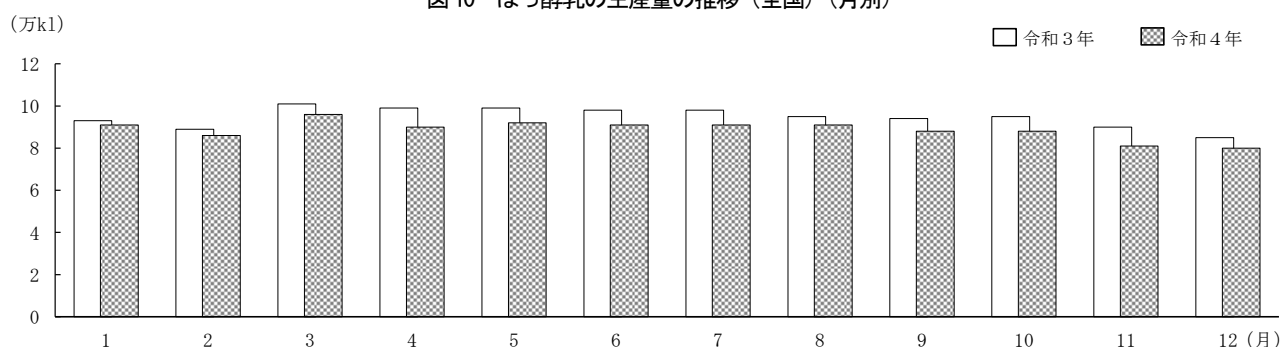
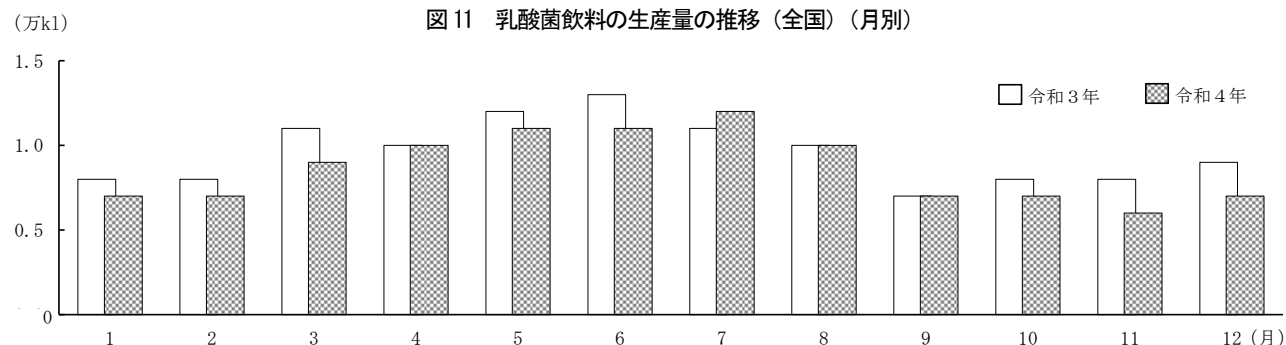


図11 乳酸菌飲料の生産量の推移（全国）（月別）

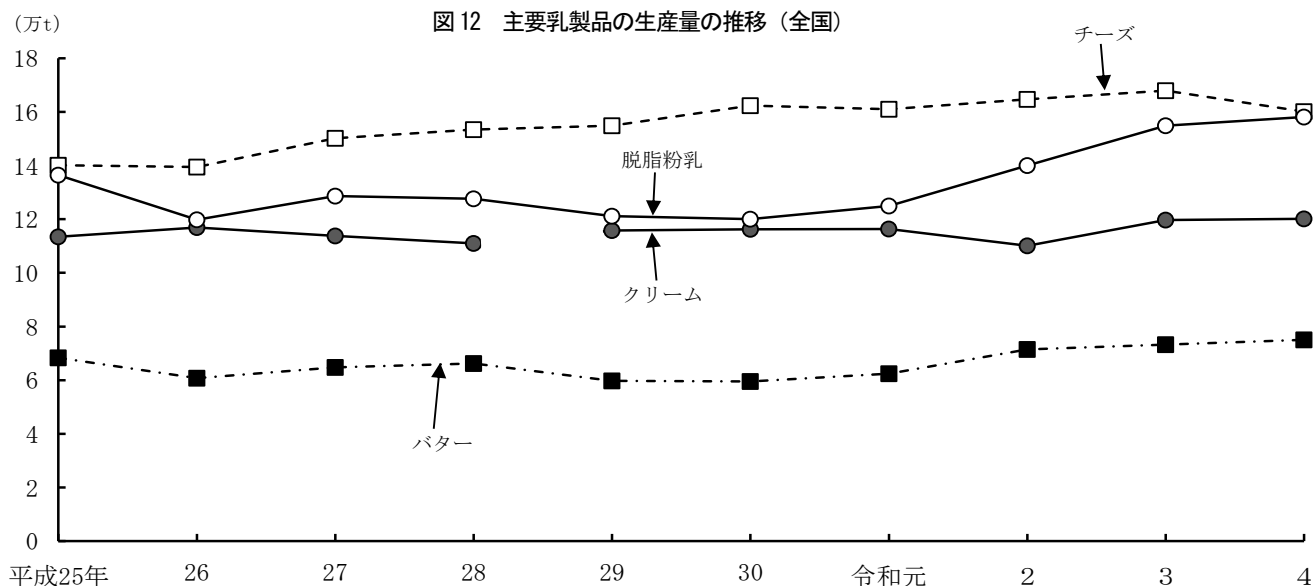


3 乳製品生産量

ー チーズの生産量は4.6%減少 ー

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は15万8,100 t、バターは7万5,046 t、クリームは12万104 tで、前年に比べそれぞれ3,210 t（2.1%）、1,729 t（2.4%）、394 t（0.3%）増加した。

また、チーズは16万118 tで、前年に比べ7,792 t（4.6%）減少した。



注：平成29年1月調査から調査定義を変更したため、平成28年と平成29年のクリームの生産量は連続していない。

表7 乳製品の生産量（全国）

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	バター	クリーム
	t	t	t	t	t	t
令和3年	8,959	154,890	26,157	19,238	73,317	119,710
4	10,022	158,100	28,271	18,978	75,046	120,104
対前年比(%)	111.9	102.1	108.1	98.6	102.4	100.3

年次	チーズ			加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
	直接消費用ナチュラルチーズ	プロセスチーズ					
	t	t	t	t	t	t	kl
令和3年	167,910	33,752	…	30,652	375	3,243	137,382
4	160,118	35,091	125,027	31,113	321	3,221	141,634
対前年比(%)	95.4	104.0	nc	101.5	85.6	99.3	103.1

注：プロセスチーズは、令和4年1月調査から調査項目に追加したため、対前年比を計算不能（nc）とした。

図 13 脱脂粉乳の生産量の推移（全国）（月別）

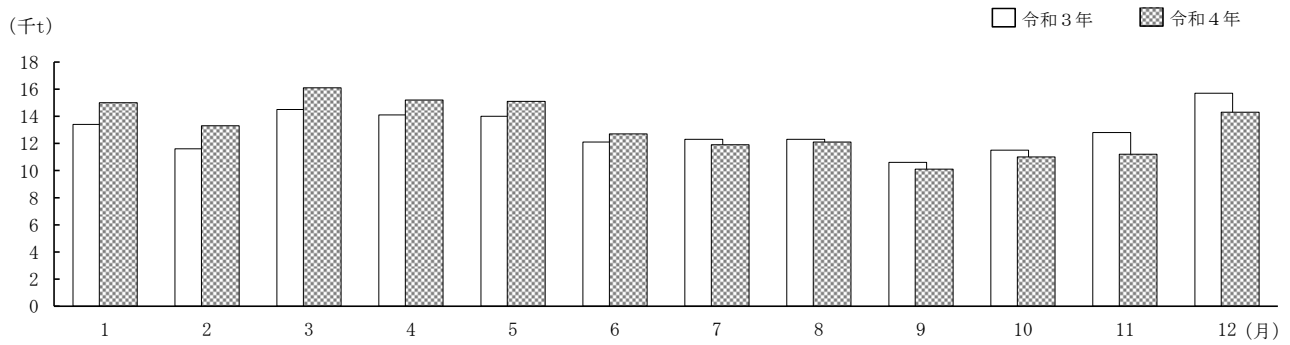


図 14 バターの生産量の推移（全国）（月別）

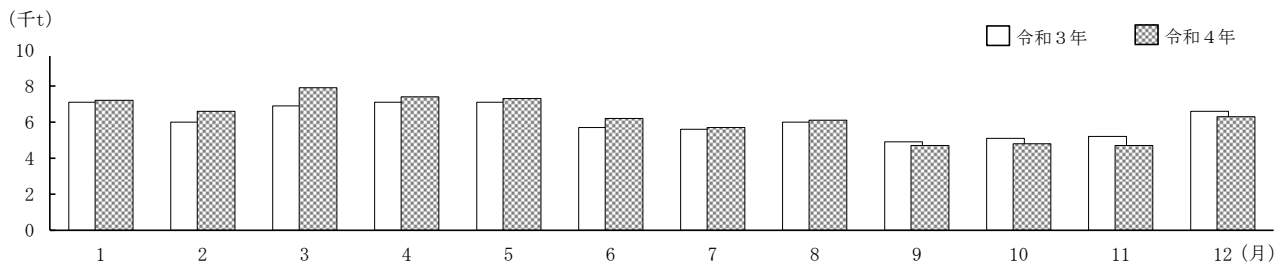


図 15 クリームの生産量の推移（全国）（月別）

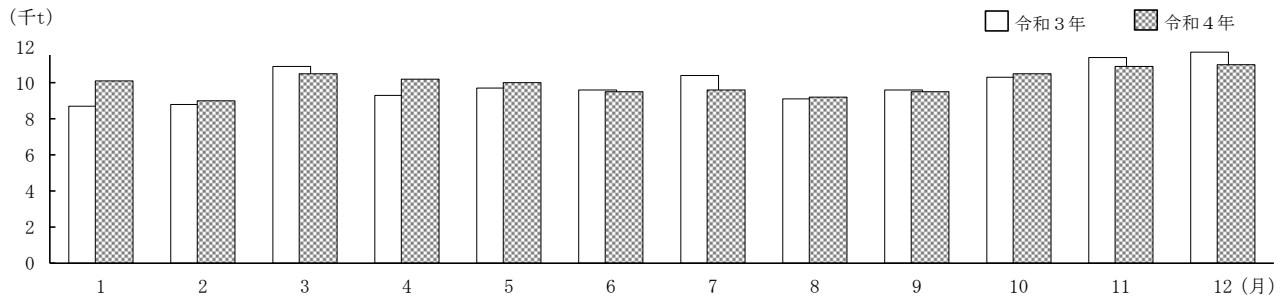
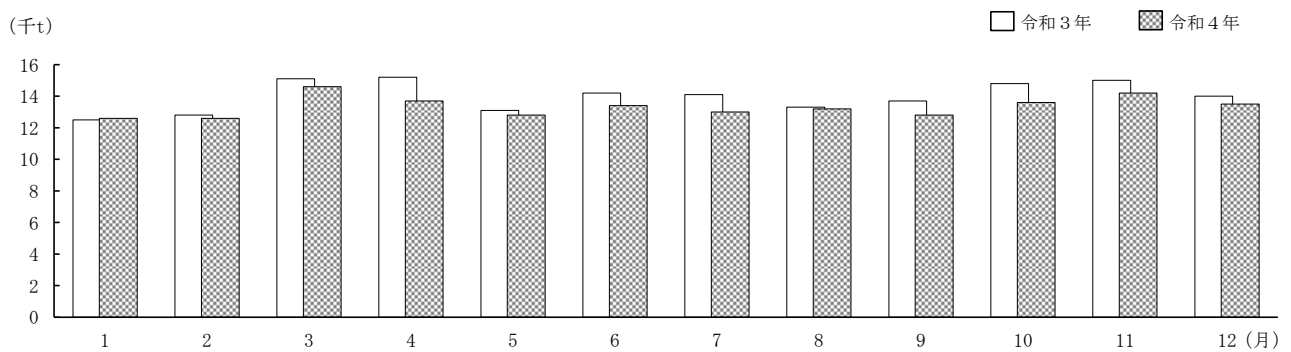


図 16 チーズの生産量の推移（全国）（月別）



4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

ー 牛乳処理場・乳製品工場数は 545 工場 ー

令和4年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場（以下「工場」という。）数は545工場で、前年に比べ1工場減少した。

内訳をみると、牛乳処理場が345工場で、前年に比べ6工場減少し、乳製品工場が144工場で、1工場増加した。

また、生乳処理量規模別にみると、1日当たり2t以上の工場数は、牛乳処理場が183工場で、前年に比べ2工場減少し、乳製品工場が39工場で前年と同数であった。

図17 生乳処理量規模別工場数の推移
(全国) (12月31日現在)

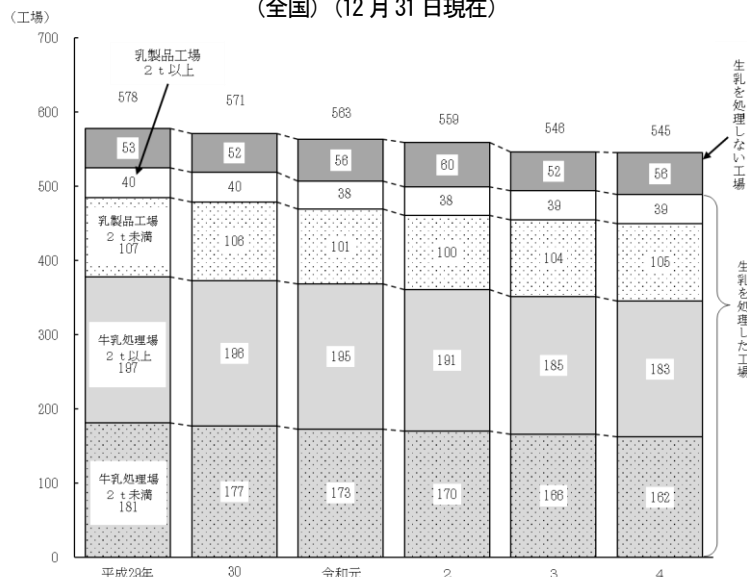


表8 生乳処理量規模別工場数 (全国) (12月31日現在)

単位：工場									
区分	合計	生乳を処理した工場							生乳を処理しない工場
		計	牛乳処理場			乳製品工場			
			小計	2 t未満	2 t以上	小計	2 t未満	2 t以上	
令和3年	546	494	351	166	185	143	104	39	52
4	545	489	345	162	183	144	105	39	56
対前年差	△ 1	△ 5	△ 6	△ 4	△ 2	1	1	0	4

注：1 生乳処理量規模別は、12月における1日当たりの生乳の平均処理量を基に区分した。

2 本統計表では、生乳を処理した工場の分類として、生乳を主として牛乳等の生産に仕向けた工場を「牛乳処理場」、主として乳製品の生産に仕向けた工場を「乳製品工場」としている。

(2) 全国農業地域別工場数

ー 関東・東山の工場シェアは 26.1% ー

全国農業地域別の工場数をみると、関東・東山が142工場（全国に占める割合 26.1%）で最も多く、次いで北海道が124工場（同 22.8%）、東北が55工場（同 10.1%）の順となっている。

図18 全国農業地域別工場シェア
(12月31日現在)

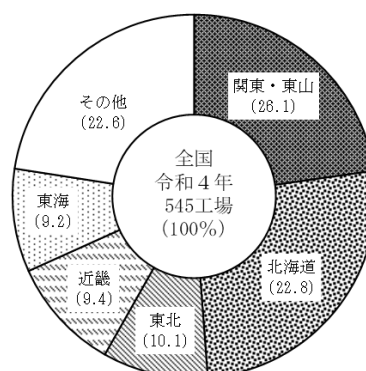


表9 全国農業地域別工場数 (12月31日現在)

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和3年	546	120	54	29	139	51	55	30	10	50	8
4	545	124	55	26	142	50	51	28	9	51	9
対前年差	△ 1	4	1	△ 3	3	△ 1	△ 4	△ 2	△ 1	1	1

(3) 製造品目別処理場・工場数

ー 牛乳を製造した工場は340工場 ー

飲用牛乳等を製造した令和4年12月31日現在の工場数は341工場で、このうち牛乳を製造した工場数は340工場であった。

また、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場数は89工場であり、乳飲料、はっ酵乳、乳酸菌飲料を製造した工場数は、それぞれ191工場、261工場、39工場であった。

乳製品を製造した工場数は334工場で、このうちチーズを製造した工場数は191工場、乳脂肪分8%以上のアイスクリームを製造した工場数は122工場であった。

表10 牛乳等を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
	計 (実数)	牛乳	業務用	学校給食用	加工乳・ 成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳			
令和3年	349	348	160	186	94	13	55	201	258	37
4	341	340	160	185	89	13	55	191	261	39
対前年差	△8	△8	0	△1	△5	0	0	△10	3	2

注：各製品を製造した実工場数であり、内訳と計は一致しない。（表11において同じ。）。

表11 乳製品を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	乳製品																	
	計 (実数)	粉乳			ホエイ パウダー	バター	クリーム	チーズ	直接消費用 ナチュラル チー ズ			プロセス チー ズ			れん乳			乳脂肪分8% 以上のアイス クリーム
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳					加糖 れん乳	無糖 れん乳	脱脂加糖 れん乳							
令和3年	327	9	26	5	5	72	74	188	167	…	20	2	10	116				
4	334	7	25	5	5	77	73	191	172	23	22	2	10	122				
対前年差	7	△ 2	△ 1	0	0	5	△ 1	3	5	nc	2	0	0	6				

注：プロセスチーズは、令和4年1月調査から調査項目に追加したため、対前年差を計算不能（nc）とした。